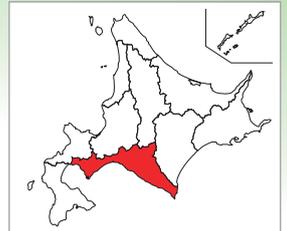


室蘭建設管理部

室蘭建設管理部の概要

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.



《概要》

室蘭建設管理部管内は、観光、水産業、農業などの多岐にわたる産業が発展し、市街化や企業立地が進むなか道央圏の物流拠点として、また、一昨年（令和2年）に、アイヌ文化の復興・発展のため民族共生象徴空間（ウポポイ）が開設、昨年（令和3年）に、北黄金貝塚及び入江・高砂貝塚を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されるなど、歴史・文化の発信拠点の役割などを果たしており、道央圏の物流機能強化、地域住民や来訪者の利便性の向上などを図り、地域経済の発展に資する社会資本整備を進めています。

また、管内は、昭和52年、平成12年の有珠山噴火、昭和56年、平成15年、近年も平成26年、28年、29年と連続した豪雨災害、平成30年に震度7を記録した胆振東部地震など、甚大な自然災害を繰り返し経験した地域であり、過去に経験した甚大な自然災害を教訓とし、大規模災害時の代替性を確保するなど災害リスクを想定した交通ネットワークの形成、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で治水対策をおこなう流域治水、ハード・ソフト一体とした総合的な土砂災害対策などの取り組みや、管理施設の老朽化対策を計画的に行うなど、安全・安心な地域の実現に向けた社会資本整備を進めています。

道路事業では、次期有珠山噴火時の迂回路として人流・物流を支える滝之町伊達線の整備、津波災害時の避難路として上向別浦河停車場線、落石の危険性が高く異常気象時に事前通行規制区間となっている大岸礼文停車場線など地域の多様なニーズに応える道路整備を推進します。

河川事業では、安平川で河道内調整地の新設、近年浸水被害が発生した真沼津川の河道整備など流域の特性に応じた治水対策、砂防事業では、土砂・洪水氾濫が発生したパンケヌシ川などでハード対策、有珠山噴火直後の降雨型泥流を防止・軽減する緊急ハード対策に備えブロック備蓄など、また、海岸事業では、越波被害が著しい虎杖浜海岸で前浜の回復を図る侵食対策を推進します。

滝之町伊達線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道

室蘭建設管理部
道路事業

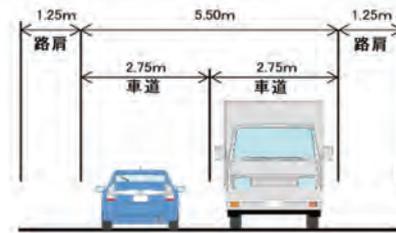
Hokkaido. Expanding Horizons.

一般道道滝之町伊達線は壮瞥町滝之町を起点とし、伊達市松ヶ枝町の伊達ICに至る路線です。
当該事業は、有珠山噴火～復興期の東西方向の人流・物流を支える迂回ルートを確認する事業です。

《事業概要》

事業延長 : L=4.2km
事業期間 : 平成22年度～令和5年度(予定)
全体事業費 : 約37億円
事業内容 : トンネル工、橋梁工

《標準断面図》



《写真:計画ルート》



《位置図》



出典: 国土地理院

あびらがわ 安平川(下流工区) 大規模特定河川事業

その先の、道へ。北海道

室蘭建設管理部
河川事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

安平川は昭和22年4月及び昭和56年8月などの洪水により浸水被害が発生したため、昭和25年度より河川改修事業に着手し、本川・支川の一連区間で暫定的な河道掘削を行いました。

安平川下流は草原や湿地などの多様な環境から構成されており、依然として流下能力が低い状況にあることから、湿地環境等の保全に配慮した「河道内調整地」を計画し、令和3年度から当該事業に着手することで集中的な整備を行い、早期に安平川下流域の浸水被害防止・軽減に努めます。

《事業概要》

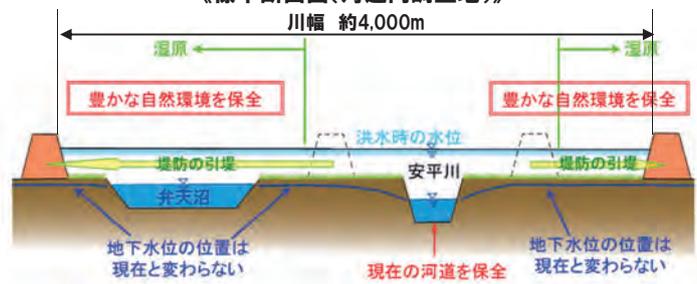
事業延長 : L=5.6km
事業期間 : 令和3年度～令和13年度(予定)
全体事業費 : 約100億円
事業内容 : 河道内調整地など

《位置図》



出典: 国土地理院

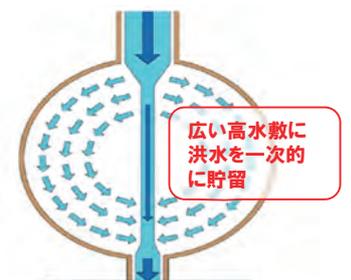
《標準断面図(河道内調整地)》



《写真:現況》



《河道内調整地 概念図》



しんぬつがわ 真沼津川 総合流域防災事業

その先の、道へ。北海道

室蘭建設管理部
河川事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

真沼津川は平成7年8月及び平成13年9月の洪水により浸水被害が発生したため、再度災害防止の観点から、平成15年度より当該事業に着手しました。

近年では、平成28年8月の洪水により浸水被害が発生しており、依然として治水安全度が低い状況にあることから、暫定的な河道掘削による河積の拡大などを推進し、早期に市街地の浸水被害防止・軽減に努めます。

《事業概要》

事業延長 : L=3.3km
事業期間 : 平成15年度～令和22年度(予定)
全体事業費 : 約85億円
事業内容 : 掘削工、護岸工、道路橋架替など

《位置図》



《標準断面図(国道橋上流付近)》



《写真：山手北8条橋より上流を望む》
(平成28年8月洪水)



《写真：駒場4号橋を下流より望む》
(過年度完成区間)



パンケヌシ川 大規模特定 通常砂防事業

その先の、道へ。北海道

室蘭建設管理部
砂防事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

平成28年8月30日から31日にかけて接近した台風10号の大雨により、土砂・流木が下流へ流下し、日高町千栄地区で多大な被害(床下浸水7戸、床上浸水2戸、住宅半壊1戸、浸水面積103ha、国道274号線通行止め)が発生しました。

流域内は土砂・流木堆積が甚だしく、今後の降雨により更なる土砂・流木が流出し、これらの保全対象に甚大な被害をもたらすおそれがあるため、平成30年度より砂防事業に着手しています。

事業の実施により土石流等の土砂被害から人家や国道274号線が保全されます。

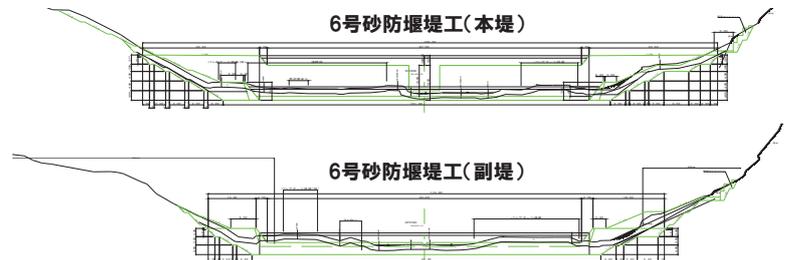
《事業概要》

事業箇所 : 砂防堰堤工1基、流木捕捉工1基
事業期間 : 平成30年度～令和6年度(予定)
全体事業費 : 約9.9億円
事業内容 : 砂防堰堤工、流木捕捉工

《位置図》



《正面図》



《写真：被災状況》



《写真：整備イメージ》

